

未来へつながる確かな安心をお届けします

# 肥後保険企画

2026年3月163号（毎月1回発行）

発行：肥後保険企画株式会社 監修：渡辺 時貞

〒860-0843 熊本市中央区草葉町4-20 AIG熊本ビル1F

Tel 096-342-6233 Fax 096-342-6390 URL <https://www.higohoken.co.jp>

日々の営業活動のなかで、ご縁をいただいた方々にお届けしています。

お忙しい毎日の“一息”としてお読みいただけましたら幸いです。



©2019年 肥後保険企画

言っています。

管理態勢向上を  
目指して目標宣

認証制度。

保険代理店のサービス品質向上に必要な管理態勢を規定したJSA-S1003

に、冷静に対応することが重要です。

社員全員の感情をマネジメントすることは不可能だとの認識を持ち、感情に反応せず、

まずは「そう感じたのですね」と一定の配慮を示しつつも、「業務としてはこうして

ください」とはっきりと伝えることです。

組織の統制は確実に崩れていくでしょう。

このケース、問題となっている社員の感情に配慮して、何もせず黙認するのは危険で

す。「面倒だから様子を見る」といった対応を続けると、職場の公平性が損なわれ、組

織の統制は確実に崩れていくでしょう。

原因としては、SNSの普及で共感されることが当たり前となっている若い世代を

中心に「自分がどう感じたか」が判断基準

になっていることが考えられます。

このケース、問題となっている社員の感情に配慮して、何もせず黙認するのは危険で

す。「面倒だから様子を見る」といった対応を続けると、職場の公平性が損なわれ、組

織の統制は確実に崩れていくでしょう。



認証登録証明書



いつもありがとうございます。

こんにちは！渡辺です。いつも定期便をご覧いただきありがとうございます。

業務指導に対して、指導内容に問題がなくても「責められている」と感じた社員が、SNSで不満を発信するケースが増えています。従来のように正論を訴えるだけでは、反発を招くことすらあるようです。

原因としては、SNSの普及で共感されることが当たり前となっている若い世代を中心

に「自分がどう感じたか」が判断基準になっていることが考えられます。

このケース、問題となっている社員の感情に配慮して、何もせず黙認するのは危険で

す。「面倒だから様子を見る」といった対応を続けると、職場の公平性が損なわれ、組織の統制は確実に崩れていくでしょう。

原因としては、SNSの普及で共感されることが当たり前となっている若い世代を中心

に「自分がどう感じたか」が判断基準になっていることが考えられます。

このケース、問題となっている社員の感情に配慮して、何もせず黙認するのは危険で

す。「面倒だから様子を見る」といった対応を続けると、職場の公平性が損なわれ、組織の統制は確実に崩れていくでしょう。

原因としては、SNSの普及で共感されることが当たり前となっている若い世代を中心

に「自分がどう感じたか」が判断基準になっていることが考えられます。

このケース、問題となっている社員の感情に配慮して、何もせず黙認するのは危険で

す。「面倒だから様子を見る」といった対応を続けると、職場の公平性が損なわれ、組織の統制は確実に崩れていくでしょう。

原因としては、SNSの普及で共感されることが当たり前となっている若い世代を中心

に「自分がどう感じたか」が判断基準になっていることが考えられます。

## ALL About The ほけん

保険はリスクへの備えとして重要な役割を果たしているとはいえ、はじめから保険ありきではなく、まずはリスクがあって、次に保険を検討するという順番です。

リスクには発生頻度は少ないけれど、実際に発生すると多額の損失になるものから、発生頻度は多いが、大きな損失にならないものまであります。保険が得意なのは前者で、発生すると数百万円、数千万円かかるようなリスクへの備えは保険が最適である場合が多いです。

例えば、一家の大黒柱の死亡リスクや就業不能リスク、自動車事故での損害賠償リスク、火災や自然災害で持ち家を再建しなければならないリスクなどが挙げられます。日常生活で誤って他人にケガをさせたり、モノを壊したりして弁償を求められるリスクも保険の得意分野といえます。



手書きなので枚数に限りはありますが、絵はがきをお届けしています。

7年10ヵ月の間94枚の縁起はがきを描かせていただきました。毎月どんなはがきにしようかと考えながら、皆様に喜んで頂ける、感動して頂くことを目標に励んで参りましたが、今月で最後のはがきとなります。

2018年5月に始まった1枚目は龍でした。昇運と書を添え、皆様の運気がどんどん上昇していくようにと願いを込めながら描きました。最後も龍画です。位が高く最強のパワーを持つ炎龍でお別れをさせていただきます。



# 確定申告の注意点! 申告期間は3月16日まで



会社員の所得税は年末調整で精算されますが、医療費控除や、家を買って入居した最初の年の住宅ローン控除などがある人は、確定申告により還付を受けることができます。一方、個人事業主は自分で確定申告して納税します。

副業などで勤務先以外からの収入があった場合、勤務先で年末調整をしていて、副収入から必要経費等を差引いた所得が20万円以下の場合には確定申告をしないことを選択できます。



生計を同じくする家族の1年間の医療費自己負担が原則10万円を超える場合に申告できる医療費控除について

は、領収書がない場合でも、健康保険を利用した分は、2月9日以降にマイナポータルサイトから一括取得できる25年の医療費通知情報を確定申告に使うことができます。

近年はe-Taxで確定申告をする人も増えています。マイナカードの電子証明書の有効期限は発行日から5回目の誕生日までなので、住んでいる市区町村の窓口で忘れずに更新手続きをしておいてください。

なお、過去の控除の申告漏れに気づいた場合は、5年前(2021年)まで遡ることができます。所得税の申告は住民税の額にも影響するので、手間を惜しまず賢い納税を行いましょう。



## 肥後保険登山倶楽部

こんにちは、登山倶楽部の萩尾です。先日、天草の上天草市にある九州百名山の太郎丸嶽と次郎丸嶽へ登ってきました。

この山には逸話があります。この兄弟の山は長男の太郎丸のほうが標高が高かったために次郎丸に、お兄さんはいつも美しい松島の景観をみれて羨ましいと言われました。

そこで太郎丸はぜひその景観を次郎丸に見せてあげたいと思い山頂を崩し、次郎丸よりも低くなった。という兄弟愛を感じさせるお話です。

ところで登山はというと太郎丸は岩を乗り越えて山頂へ、次郎丸はロープを伝い山頂へ向かいます。疲れもピークを迎えますが、山頂からの眺望はそれも忘れさせてくれるぐらいの絶景を見ることができます。



山頂直下の大岩のロープ場

## ウェルビーイング推進事務局より



2月から仲間入りした新入社員の歓迎会を行いました。優しさの中に芯の強さがあるママさん社員で、保険の勉強をしながら早く業務に慣れようと日々頑張っています。

これで弊社の男女比は3:7になり、社内はますます女性のパワーで満たされるようになりました。

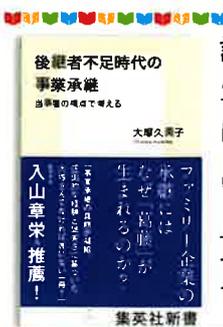
今回は上通りの“居酒屋いとのすけ”で次々に運ばれてくる美味しい料理を堪能しながら、皆でよく飲み盛り上がりしました。途中でミニイベントとして質問ゲームを挟み、お互いの今の気持ちを知るコミュニケーションの時間も設けました。「オフィスでは見られない社員の



楽しいひと時を過ごせました

人柄を知れたり話ができて、お料理も美味しく楽しかったです。」と喜んでもらい、全力でサポートしながら一緒に成長していきたいと思いました。

## 後継者不足時代の事業継承



あのとき大塚家具の中で何があったのか。本人が冷静に事の次第を語っているのに、失敗例から学ぶことも大事だということを教えてくれます。家業を継ぐことは美談として扱われることが多いですが、多くの事業が縮小の危機にあるなかで、ファミリービジネスを選択する意味は何か。事業承継当事者の方にぜひ読んでほしい一冊です。

当事者の視点で考える。本書の著者は、元大塚家具社長の久塚美子氏です。事業承継に関わる様々な問題を見える化し、その過程で生じる葛藤をテーマにしています。事業承継に関する本はたくさんありますが、事業承継支援サービスの関係者によるものがほとんどです。類本と異なるのは、著者が事業承継の典型的な失敗例となった当事者だということ。

## 乱読コーナー